

第一の動詞	状態を表し、時間を超越したもの。基本「～ている」にならない。		状態動詞・イ/ナ形容詞述語・名詞述語はル形で現在を表す。			
状態動詞	いる 桜がある 要る できる 話せる (可能形)	タ形	机の上に本があった。	過去形	過去	
	存在する 錆びる 勝る 異なる テイル接続可能	ル形	机の上に本がある。	非過去	現在	
第二の動詞	動作、作用を表しその動作の継続があるもの。		継続動詞/動作動詞のル形は未来を表す。			
動き動詞 非状態動詞	食べる 祭りがある 話す 歌う 歩く 書く	ル形	① お茶を飲む。	非過去	未来	
継続動詞 金田一分類	笑う 散る 降る 泳ぐ 作る 住む	テイル形	② お茶を飲んでいる。 [動きの進行]	非過去	現在	
動作動詞 金田一分類ではない	太る：瞬間的でなく継続動詞 太っている (結果の状態) 乾く：瞬間的でなく継続動詞 乾いている (結果の状態)	タ形	③ お茶を飲んだ。	過去形	過去	
第三の動詞	動作、作用を表すが、その動作が一瞬にして終わるもの。		瞬間動詞/変化動詞のル形は未来を表す。			
動き動詞 非状態動詞	死ぬ 倒れる 完成する 閉める 汚れる 曲がる	ル形	① 真実を知る。	非過去	未来	
瞬間動詞 金田一分類	増える 座る 始まる 知る 届く 決まる	タ形	② 真実を知った。	過去形	過去	
変化動詞 金田一分類ではない	見つかる 終わる 到着する 突く 発売する 割れる ※着脱の動詞は継続/瞬間の両方の性質がある「着る/はく」	テイル形	③ 真実を知っている。 [動きの結果の状態]	非過去	現在	
第四の動詞	時間概念を含まず、「ある状態を帯びていること」を表す。		彼は優れる (×) ル形は無い。すべて「～ている」に接続する。			
第四の動詞	ずば抜ける 優れる そびえる	テイル形	山がそびえている。 [状態の継続]	非過去	現在	
変化動詞	ありふれる ひよろひよろする					
「中」の接続	「～中」*継続動詞なら可能 (○) 販売中 (○) 食事中 / 瞬間動詞では接続不可 (×) 発売中 (×) 到着中 (×) 故障中					

動詞の分類 PDF 19

[参考資料：状態動詞](#)

動詞の分類 PDF 19

住む ⇨ 住んでいる ⇨ 住んだ（継続動詞としての解釈）

住む ⇨ 住んだ ⇨ 住んでいる（瞬間動詞としての解釈）

なぜなら、「住む」という動詞は状態の継続を表す意味もあり
継続動詞になったり瞬間動詞になる動詞もあります。

変化が瞬間ではない、つまり継続動詞でも、

「～ている」形の意味が「進行中」ではなく、

「結果の状態」を表す動詞もあります。

例えば「太る」です。太る ⇒ 太った ⇒ 太っている

これは、太るという変化が瞬間に起こるわけではないので、

「継続動詞」に分類されます。

しかし、「太っている」の意味は

「太った」の結果の状態が続いているということです。

つまり、継続動詞「太る」の「～ている」形が、「進行中」ではなく、

「結果の状態」をあらわしています。

「継続動詞」と「瞬間動詞」について書きましたが、「太る」や「乾く」という

動詞の分類について矛盾？があると指摘されて、

最近ではこれらすべてを「動き動詞」（非状態動詞）と呼ぶようです。

その中でも「～ている」を付けて主体の動きに継続性があるものを「動作動詞」とし、

主体の変化の結果の状態を表すものを「変化動詞」とする分類方法もあります。